

H29.7.27 平成 29 年度 第 1 回 東淀川区区政会議 議事概要

日時・場所 平成 29 年 7 月 27 日(木)午後 8 時から午後 9 時。東淀川区役所 3 階区民ホール
出席者 区政会議委員 35 名、市議員 3 名、府議会議員 1 名

議題 1 平成 28 年度 東淀川区運営方針自己評価について

2 月の年度内振り返り（見込み）時から変更した点、特に実績が事業目標を下回る結果となり評価が変更した点とその改善策について説明。（がん検診受診者数：予約方法を改善する。未入所児童数：今年度保育施設を開設し改善をめざす。個人情報事務処理誤り件数：事例の原因分析と重点対策に取り組む）

議題 2 （仮称）東淀川区将来ビジョン～2022 年に向けて～（素案）について

6 月部会での「たたき台」への意見や「区政改革プラン 2.0（区政編）（素案）」を踏まえ作成。

魅力あるまちをつくろう！部会

H28 自己評価について

- ・区民まつりを活性化させてにぎわいのあるまちにしてほしい。 →長いスパンで地域と検討。
- ・向こう三軒両隣を踏まえた新しいコミュニティづくりを考えていかなければ。
- ・住民だけではなく地域と企業や団体を結びつける事案など、先行事例の共有をしてほしい。

将来ビジョンについて

- ・挨拶や助け合いの中で隣近所の顔が見える関係のあるまち、地域活動の世代交代や情報発信、地域の特性に応じたきめ細かい支援が重要。
- ・世代間の交流ができる場所やイベント・楽しめる地域の活動があり、こどもたちが元気に遊べるようなまちになればいい。淀川河川公園の自然の活用など。

→将来ビジョンへの記載「つながりづくりの実施。そのために必要な区役所から地域への情報提供や新たな担い手の発掘・気軽に足を運べる居場所づくりの支援、及び区民への情報発信を積極的に行っていく」。にぎわいのタイトルに「元気なまち」を加えるなどして反映

健康・福祉部会

将来ビジョンについて

- ・地域のコミュニケーション、ネットワークづくりが重要。地域だけ、行政だけで頑張ってもだめ。
- ・行政への相談を区民が身近に感じることでできる取り組みが重要。

→将来ビジョンへの記載「『地域コミュニティを中心とした『共に支え合い共に生きるまち』の実現に向け、地域における「助け合い」「支え合い」といった取り組みを支援」や「複合課題世帯や生活困窮世帯などの解決に向けた連携ネットワークの充実」という記載に反映。

教育・子育て部会

H28 自己評価について

- ・ 要保護児童対策地域協議会（要対協）の評価について、関係機関のアンケート評価だけではなく、他の指標を用いた評価も検討すべきでは。
- ・ 目標達成しなかった保育所の未入所児童解消の対策についてさらに細かな検証が必要ではないか。
- ・ 一時預かりの利用促進について啓発を。 →乳幼児健診を活用するなどして周知していきたい。

将来ビジョンについて

- ・ 私たちの部会で提言させていただいた三本柱のうちの2つを将来ビジョンの柱としていただいた。今後も部会においてこの2つの柱に基づいて議論を進めてまいりたい

防犯・防災部会

H28 自己評価について

- ・ 特殊詐欺・子どもや女性を狙った犯罪・放火についての啓発、皆門灯をつけるなど明るいまちづくり、防犯カメラの設置をアピールして犯罪抑止ができないか。

将来ビジョンについて

- ・ 高齢化し、5年後はもっと深刻な人材不足になるため、多くの人の防災意識の向上が必要。
- ・ 地域でも危険な箇所に防犯カメラをつけたり、皆で気をつけることが重要。
- ・ 清掃などをはじめとして地域がつながり、子どもが周りを気にせず、安心して遊べるまちづくりが重要。昔のように地域がつながり皆がお互い見守っているまちづくりが犯罪者を近づけない。

→将来ビジョンへの記載「あらゆる世代の地域住民や団体等（企業や学校）が防災・減災に取り組む訓練や啓発の裾野の拡大」「地域の自主的な防犯活動への支援、防犯意識の啓発」の記載に反映。

議題3 平成30年度に向けた取り組みの方向性について

- ・ 特に伸ばして行ってほしい項目

魅力あるまちをつくろう！部会

- ・ 担い手の世代交代を進めていけるような取り組みや共助のベースとなる町会の重要性や活動内容の発信、また地域での活動について伝えたい人に気軽に来てもらえるような情報発信が必要。
- ・ コミュニティのつながりやにぎわいづくりの取り組みのために、まちの魅力や地域の活動に関する情報発信や活用の仕方を考えていくべき。

健康・福祉部会

- ・行政相談をもっと身近にしてほしい。地域でひきこもりの方をどう把握し、対応していくか。
- ・関心が高まっている認知症予防の取り組みができないか。
- ・介護等の担い手について研修の敷居を下げ、働いている人や学生にも研修を受けやすくするべき。

教育・子育て部会

- ・こども食堂など、こどもが安心して、保護者も一緒に来られて楽しめる、温かい居場所を各地につくっていくことが重要。
- ・こどもが夢や目標を持ったり頑張るきっかけづくりのために、トップアスリートや地元出身で活躍されている有名人などのお話を聞いたり、交流したりできればよいのではないか。それが自尊心の向上の一助になるのではないか。
- ・家庭が人間関係の根本で大事であるという家庭教育の見直しも必要。
- ・こどもとおとな、お年寄りも含めて地域で交流していけば地域の人間関係が広がっていくのでは。

防犯・防災部会

- ・防災訓練に関心のない多くの若い人の防災意識の向上が重要。
- ・小中学校・大学・高校・企業・商店街などエリア内が連携強化して合同訓練等することが重要。
- ・災害時の避難経路の確保や防災意識向上のために倒壊危険箇所等の合同点検、備蓄なども必要。
- ・防犯でも地域がつながり、ごみへの放火を抑止するため町会単位の清掃やつながりづくりが必要。
- ・防犯での企業連携や、青パトの活用（地域間での乗り合いやスピーカーでの啓発）ができないか。
- ・人材発掘は、若い人たちだけではなく、高齢者でまだボランティア活動をしていない方々が重要。
- ・特殊詐欺や消費者被害について、勉強会・講習会で高齢者に啓発が必要。
- ・自転車走行マナーに関する講習会や走行マップ作成、青パト音声で駐輪・駐車マナー啓発しては。

(議員より)

- ・青色パトロール車の活用について、以前できなかったが今は区内全域を走行できるようになっている。複数の地域にまたがって乗る場合のガソリン代の負担の分担の問題なども、共通のプリペイドカードを作る等やり方はある。前向きに動いていただきたい。